

ぼくたちのスクールミュージアムへようこそ —インターネットで美術館をつくらう—

茨城県つくば市立荊崎第一小学校 教諭 坂本白百合

E-mail kui01@tsukuba.jed.jp

キーワード：小学校，美術館，学校webページ，TV会議，グループウェア

1. はじめに

本校では校内 LAN が整備され、各教室から web ページの閲覧やメールの送受信が可能である。またグループウェアを活用した学習も日常的に行われている。この校内環境を生かし、第4学年の図画工作科において web ページを活用した学習の工夫や、メールやTV会議による支援、学校 web ページを使った児童作品の公開を行うことで、児童の表現力や鑑賞力の向上を図るとともに、情報活用の実践力を高めたいと考えた。また液晶ペンタブレットや電子情報ボードを使った鑑賞活動を行うことで、製作過程や工夫点について効果的な話し合いができると考え、本実践を企画した。

2. 実践の概要

(1) web ページを使った導入の工夫

学習の導入時に web ページを活用したことで、多様な作品の工夫や表現のよさを感じ取り製作活動への見通しをもつことができた。またグループウェアの電子掲示板を使い、他校の児童の作品を鑑賞することで、様々な表現方法があることを知り、製作意欲を高めることができた。鑑賞の際には、液晶ペンタブレットや電子情報ボードを使い、気付いた表現の工夫やよさについて、互にかき込みながら話し合ったことで、児童が自分なりの見方や感じ方をもつことができた。

(2) メールを活用した作品製作

イラストレーターなどにメールで作品の感想や質問をしながら製作することで、興味を持った表現方法を知ることができた。また作品を製作する上での疑問点や不安を相談することで、必要な技術を教わり、自分が納得する方法で取り組むことができた。グループウェアのメール機能を活用することで、児童は無理なくメールを作成した。

(3) TV会議を活用した作品鑑賞

グループウェアを使って鑑賞ノートを作成し鑑賞会を行った。液晶ペンタブレットや電子情報ボードを使い、作品についてグループで話し合いながら鑑賞会を行ったことで、友達の作品に共感しながらそのよさを味わうことができた。また FOMA を使い美術館の学芸員とTV会議を行った。学芸員から自分たちの作品について感想を聞き、美術作品の表現の工夫についても知ることができた。TV会議で美術館について話を聞く機会を得たことで、美術作品への関心を高めることができた。

(学芸員とのTV会議)

(4) 学校 web ページでの作品公開

グループウェアのデータベース機能を使って児童の作品集を作成し学校 web ページで公開。学校 web ページの「会議室」やウェブログの「コメント」を利用して保護者や地域の人から作品について感想を得ることができた。児童作品を保護者がいつでもみられるようにすることで、児童の今後の製作活動への広がりが期待できる。

3. 成果と課題

web ページやメール・TV会議を活用した学習展開を工夫することで、児童の製作意欲が高まり、積極的に取り組むことができた。また、液晶ペンタブレットや電子情報ボードを効果的に活用した鑑賞活動を行うことで、自分の色や形などのとらえ方に気付くことができた。尚、実践においてはアドバイスをもらえるイラストレーターなどを捜すのが困難であり、事前の打ち合わせなど配慮を要した。学校 web ページの閲覧は保護者によって個人差が大きく、作品の感想をもらうのは難しい。今後の課題としては、児童の製作をサポートできる人材の確保や、学校 web ページを活用した保護者との連携の在り方があげられる。



(学校webページに公開した児童作品)